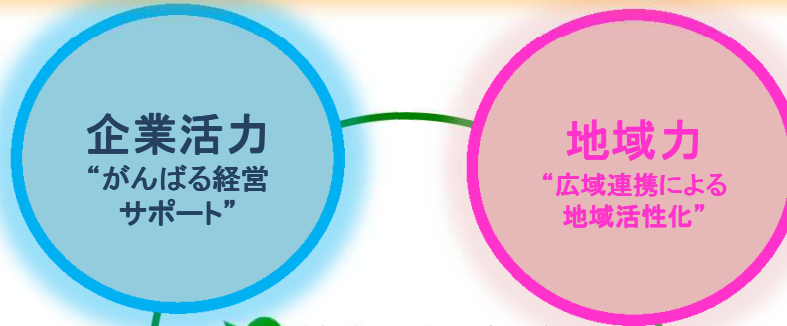


地域経済団体としての力を発揮した震災復興・地方創生の実現

- ①販路開拓事業を通じた復興(自立)支援と
ビジネスチャンスを生み出します。
- ②ビジネスパートナー発掘・人脈拡大や
企業・地域の発展を担う人材育成を支援します。
- ③様々なサポートメニューによる
伴走型支援で経営力を強化します。
- ④創業、経営革新支援により
市内事業所数の拡大に努めます。
- ⑤企業における採用活動支援など
地元中小企業の雇用を支援します。



仙台商工会議所
リーダーシップの発揮により
3つの“力”を強力に推進・発信

- ①ハードソフト両面で
戦略的にインバウンド拡大を推進します。
- ②仙台の文化観光力を高め、国内外に向け
仙台・東北の魅力を発信します。
- ③東北の顔、賑わいの中心としての
活気ある商店街づくりを支援します。
- ④産学官連携により
地域ものづくり力を強化します。
- ⑤東北の国際拠点として世界に開かれた
仙台の都市力向上を図ります。

- ①企業活力と地域力を高めるため
各種政策提言(要望)活動を強化します。
- ②組織・財政基盤強化のため、
会員の声を反映したサービスの充実により
1万会員達成を目指します。



- ③女性・若手経営者など多様な参画による
事業活動を強化し、行動する商工会議所を目指します。
- ④経営に役立つ情報を発信し、サービスの利用を促進します。
- ⑤中小企業・地域の課題を主体的に見出し・解決する
職員の育成を強化します。



企業・地域が抱える主な課題
①労働力不足、人材育成、事業承継 ②人口減少、高齢化 ③販路開拓 ④海外展開
⑤被災地の復興 ⑥風評被害・風化 ⑦インバウンド等交流人口拡大 ⑧地域資源の掘り起こし、新たな魅力づくり

被災地・商工業を取り巻く環境変化
復興、地方創生、慢性的な労働力不足、社会保障と税の一体改革、消費税率引上げへの対応、環境・エネルギー問題、中小企業の海外展開、人口(労働人口)の減少、若年層の都市部への流出、TPPへの対応 など

今後の仙台圏関連の動向
地下鉄東西線開業による交通体系の変化、仙台空港民営化(平成28年7月)、JR東日本(仮称)仙台駅東口開発計画(平成29年度)、東北医科薬科大学医学部開学(平成28年4月)、G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議(平成28年5月)、南三陸道路全線開通(平成30年度)、宮城県広域防災拠点整備(宮城野原)、仙台貨物ターミナル駅移転 など